



やりがいのある仕事と働きやすい職場づくり

職場・職種別交流集会

住民と私たちの仕事。その働きがいとあり方を考えよう。

楽しく仕事してますか？定時で帰れてますか？もしかして不払い残業をしてませんか？住民の思いに心を寄せて仕事ができますか？職場で愚痴が言えますか？

人が足りない、制度が頻繁に変わる、来庁者に怒鳴られる……。希望をもってこの仕事に就いたはずなのに。こうなったのにはきっと原因があるのではないだろうか？住民のための自治体労働者の役割って何だろう？住民の思いのいきる自治体のありかたってなんだろう。

同じような仕事をしている仲間で集まり、愚痴を言い合い、私たちの仕事や自治体のあり方を考えませんか。憲法・地方自治法に基づいている私たちの仕事の姿を。

日時 6月3日(土)9:00 開場

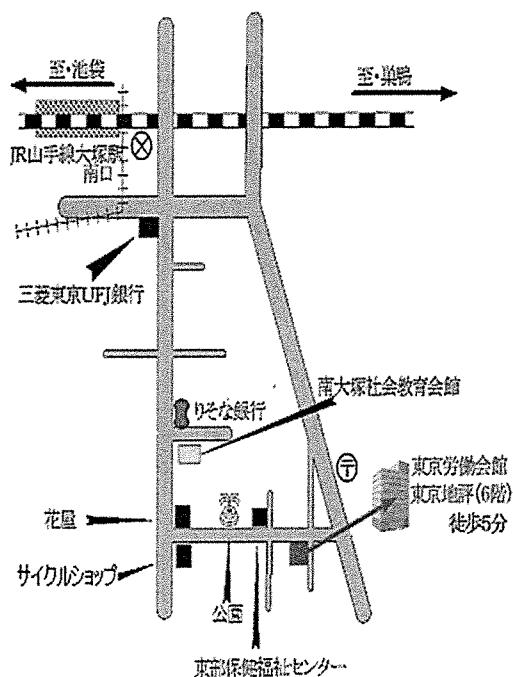
場所 東京労働会館内

9:30 全体会(ラパスホール)

記念講演 黒田兼一 明治大学教授
基調報告

11:10 分科会(分科会詳細:裏面)

16:15 全体会 まとめ



【連絡先】 東京自治労連 03-5940-7951

<分科会内容>

	分科会名	考えるポイント	対象となる職場
1	生活保護・自立支援	・申請者の立場に立った生活保護行政を考える	生活保護(ケースワーカー)
2	介護・国保、障がい者・高齢者・子育て支援などの職場の窓口	・利用者の生活実態に立った対応(滞納やそのペナルティーを考える)	福祉関連の窓口
3	戸籍・住民記録などの窓口	・住民のプライバシーと権利、職員の専門性が継承される仕事のあり方(法務省通知を生かして)	戸籍・住民記録(総合窓口含む)
4	地域医療・地域連携	・地域医療構想がすすむもと、私たちが求める医療と介護を実現するために果たす役割	医療現場、保健所
5	税務職場	・納税の義務、権利が職場のIT化、委託化が進む中で、差押などノルマを課せられる現実とスキルの継承を考える	税務(都、市区)
6	現業・ライフラインに係わる職場	・頻発する災害に対応出来る現場のあり方	土木事務所・土木・都市整備関連 東水労、
7	教育関連職場	・子どもたちのための学校の環境をつくるために、それぞれが果たす役割	都、区、市の学校関連職場、教育委員会職場
8	講座「公務職場が担うもの」	講師 角田 英昭さん	

